



長門市 記者配布(発表)資料

発信年月日：令和6年7月17日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1145
経済産業部 農林水産課	角谷 隆士	水産振興班 藤井 晋作		FAX 0837-22-8458
件名	「海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ協議会」が創出した Jブルークレジット購入申込者の公募結果について ～8者の企業様にご購入いただきました～			

仙崎湾周辺で藻場の保全活動を行っている「海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ協議会」が活動を通じて創出した CO2 吸収量（クレジット）を、8者の企業様にご購入いただきました！

7月9日（火）の協議会総会にて、クレジット収入は藻場の保全活動や子供たちの環境教育に利用することが決定し、利用させて頂くことになりました。

記

- プロジェクト名：「海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ」
- Jブルークレジット発行量：12.6 t-CO₂
- Jブルークレジット購入の公募
公募方式：総量分配方式（口数型）1口当たり 99,000 円（消費税込み）
公募期間：令和6年2月27日～令和6年4月17日
- Jブルークレジット購入企業（順不同・敬称略）
共立地下工業株式会社、岡部株式会社、中電技術コンサルタント株式会社山口支社
株式会社タマエンジニアリング、株式会社田中技研コンサルタント
株式会社日本港湾コンサルタント九州支店、国際航業株式会社
トキワコンサルタント株式会社
- その他
 - プロジェクトの概要や活動の様子は【別添資料】をご参照下さい。
 - Jブルークレジットの詳細については、JBE ホームページをご参照下さい。
 - トップページ：<https://www.blueeconomy.jp/>
 - 公募結果：<https://www.blueeconomy.jp/archives/20240517/>
- 問合せ先
 - 海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ協議会
事務局 長門市経済産業部農林水産課（TEL 0837-23-1145 FAX 0837-22-8458）

【海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ】だより

仙崎湾の藻場を復活させるため『保全活動団体を設立』 ～海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ～

『ガンガゼなどのウニにより仙崎湾は磯焼け』

ウニやサザエや海藻などの好漁場であった仙崎湾では、地球温暖化の影響によりウニが爆発的に増えて「磯焼け（海藻がなくなること）」が発生しています。

『磯焼けが発生すると？』

藻場は「うみのゆりかご」といわれ、魚や貝類等の水生生物の産卵場や稚魚のすみかとして重要ですが、藻場がなくなると水生生物が住むことができなくなります。

また、藻場は「ブルーカーボン」といわれ、海中の二酸化炭素を吸収する働きがあり、藻場がなくなると地球の二酸化炭素は減りません。

『令和4年9月 藻場保全活動団体の設立』

仙崎湾の地元長門市が中心となって、漁業協同組合の4支店（仙崎支店、野波瀬支店、小島支店、通支店）と県による藻場保全活動団体【海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ】協議会を設立しました。

『藻場保全活動の開始』

仙崎湾の藻場を復活させるため、「ウニ類の除去」「母藻の設置・移植」「海底清掃」に着手しています。



2024年1月31日『Jブルークレジット認証申請』を実施 ～カーボンニュートラルへの貢献と併せて地域の水産振興を目指します～

プロジェクト名：海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ

申請団体：海のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ協議会

プロジェクトの概要

- ▶ 仙崎(センザキ)湾周辺は、水生生物の生育にとって重要な藻場を形成するため、古くから養殖着生基盤となる石材や構造物による藻場造成を実施してきました。
- ▶ 近年、地球温暖化等の要因により湾周辺の藻場はウニの食害を受け、減少傾向が進んでいることから、地域の課題として藻場の回復・維持を掲げました。
- ▶ 藻場保全活動を効率的かつ継続的に実施するため、漁業者・長門市・県で構成する協議会を令和4年9月に設立し、組織的な活動に着手しました。
- ▶ 4漁協支店の海域毎に活動計画を作成し、藻場保全として「ウニ類の除去」「母藻の設置・移植」、環境保全として「海底清掃」を実施しています。
- ▶ 核藻場としての機能発揮を目指し、活動範囲の藻場被度向上を進めるとともに、造成中の藻場を活動範囲に加えるなど、仙崎湾を拠点として活動していきます。



プロジェクトの特徴・PRポイント

- ▶ 藻場の回復・維持により、美しく豊かな仙崎湾を取り戻し、地球温暖化の抑制や、地域の重要な産業である水産資源及び観光資源の確保に貢献します。
- ▶ 活動の広域的な認知度を高め、隣接する仙崎卸赤市場や道の駅「センザキキッチン」と連携した水産振興を目指します。
- ▶ 仙崎湾周辺の小学校児童を対象とした環境保全学習会を実施し、地域での活動の認知度を高めるとともに、漁業従事者確保に向けた広報活動を実施します。
- ▶ 効率的な藻場保全活動の実施に向け、地元水産大学校と連携して、現場把握と藻場被度向上対策の検討を進めるとともに、信頼性の高い保全活動結果の整理に努めます。
- ▶ ブルーカーボン・オフセット制度を活用し、藻場被度向上を図り、カーボンニュートラルへの貢献を推進していきます。



『ブルーカーボンや藻場とは？』

～藻場が二酸化炭素を吸収する重要な存在～

『ブルーカーボンとは？』

海洋生態系に取り込まれた炭素は国連環境計画の報告書において「ブルーカーボン」と命名されました。海洋生態系には「藻場」「干潟」「マングローブ」があります。

『藻場とは？』

海草（うみくさ）や海藻（うみも）が濃密で群生している場所を「藻場」といいます。

『藻場が二酸化炭素を吸収するメカニズムは？』

海中の二酸化炭素は、浅海に生息する海草や海藻が光合成を行うことにより、体内に吸収されます。また、枯れたりした海藻は、海底に堆積して固定されます。

『藻場』大型藻類や海草が、濃密で広大な群落を形成している場所（国連環境計画報告書では、「藻場」以上、水産資源の観点から）

『海草（うみくさ）藻場』
 ● 主に沿岸一帯の浅海に群生する海藻類の総称
 ● 根・茎・葉が分かれている陸生植物（陸生植物）と異なり、根が分かれていない藻類植物（陸生植物）
 ● 成長が速く、CO₂を吸収する能力が高い

『海藻（うみも）藻場』
 ● 主に沿岸一帯の浅海に群生する海藻類の総称
 ● 根・茎・葉が分かれていない藻類植物（陸生植物）
 ● 成長が速く、CO₂を吸収する能力が高い

藻場によるCO₂吸収の仕組み（概念図）
 藻場によるCO₂吸収の仕組み（概念図）
 藻場によるCO₂吸収の仕組み（概念図）

出典：JBE資料

2024年2月27日『Jブルークレジット認証・発行』

～ジャパンブルーエコノミー技術研究組合のホームページで公表～

【認証情報】
 国のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ
 (参考情報)
 国のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ
 (詳細情報)
 国のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ

【クレジット認証情報】
 認証クレジット量 12.6[t-CO₂]
 クレジット属性 自然系(吸収源対象)クレジット

2024年2月27日、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（JBE）のホームページで、『海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ』の申請が「Jブルークレジット®」に認証・発行されました。

認証クレジット量は、12.6 [t-CO₂]
 公募方式は「総量分配方式（口数型）」で、
 購入申込1口あたりの金額は、税込99,000円に設定されました。

今後は、この活動の認知度を高めるため、センザキッチンなどの市内の集客施設を活用した広報活動等の様々な対応を協議会で進めていきます。

【海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト inセンザキ】だより

2024年3月19日『Jブルークレジット発行証書交付式』

～発行証書交付式後に堀協議会会長がPRを実施～

『長門市記者発表』

3月18日、「海のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ」の認知度向上に向け、Jブルークレジット®証書交付式開催を記者発表しました。

『Jブルークレジット証書交付式』

3月19日の午前、Jブルークレジット®証書交付式の開催が開催され、認証27団体全体の写真撮影後、協議会会長（長門市経済観光部長：堀 俊洋）にJBE理事長（桑江 朝比呂）から発行証書が交付されました。

クレジット発行量：12.6 t-CO₂

『Jブルークレジット活動意見交換会』

3月19日の午後、活動意見交換会の中で当協議会のPR（プレゼン）を協議会会長（長門市経済観光部長：堀 俊洋）が行い、長門市仙崎地域の特徴、藻場保全活動の状況を説明し、

活動の継続や広報を進め、カーボンニュートラルへの貢献と併せて水産業の振興を図る

とプレゼンを締めくくりました。



全体写真撮影



発行証書交付



PR（プレゼン）



長門市 記者発表（傍聴）資料

開催日時：令和5年3月18日
 開催場所：長門市庁 2階 会議室
 出席者：堀 俊洋（協議会会長）、桑江 朝比呂（JBE理事長）、長門市経済観光部長、各関係団体代表者

議題：Jブルークレジット®発行証書交付式開催の記者発表

発表内容：協議会会長から、Jブルークレジット®発行証書の意義、藻場保全活動の重要性、カーボンニュートラルへの貢献について説明し、JBE理事長から、Jブルークレジット®発行証書の交付を受け、藻場保全活動の継続や広報を進め、カーボンニュートラルへの貢献と併せて水産業の振興を図ることを目指す旨を述べた。

質疑応答：質疑応答あり。協議会会長から、Jブルークレジット®発行証書の意義、藻場保全活動の重要性、カーボンニュートラルへの貢献について説明し、JBE理事長から、Jブルークレジット®発行証書の交付を受け、藻場保全活動の継続や広報を進め、カーボンニュートラルへの貢献と併せて水産業の振興を図ることを目指す旨を述べた。

認証申請した『藻場保全活動』について

～仙崎湾内の仙崎支店・小島支店・野波瀬支店・通支店の漁業者が実施～

『藻場保全活動状況』

仙崎湾の5箇所において、35.9haの藻場を保全しました。
 1年間（2023年10月～2024年9月）、21名の漁業者が47回の活動を実施し、9.5ha（約26%）の藻場を回復できました。吸収CO₂（申請）は20.4 [t-CO₂]

藻場の状況



通支店

※35.9ha全体に藻場が広がるよう活動を強化していきます！



仙崎支店



小島支店



野波瀬支店

認証申請に添付した『環境保全学習会』について

～2023年5月12日 長門市立通小学校で実施～

『概要』

仙崎湾周辺の小中学校の児童・生徒を対象に、環境保全の重要性と水産業担い手確保を目指します。
 具体的には、下記の説明を行っています。

- ・仙崎湾の現状と保全活動内容
- ・カーボンニュートラルや藻場の重要性
- ・水産業に対する理解



長門市立通小学校児童10名

『学習会資料の抜粋』

藻場の働き

1 私たちの活動

2 ブルーカーボンの働き

3 お魚の流通

お魚の流通

4 ブルーカーボンの働き

5 お魚の流通

お魚クイズ

6 お魚クイズ

お仕事PR

7 お仕事PR

『令和5年度第4回Jブルークレジット購入申込者公募』実施中

～ジャパンブルーエコノミー技術研究組合のホームページで公表～

『公募期間』

購入申込意向表明期間：2月27日（水）～4月17日（水）17時まで
 購入申込期間：3月6日（水）～4月24日（水）17時まで

『大まかな購入の流れ』

- ①購入申込意向表明（4月17日まで）
- ②購入申込（4月24日まで）
- ③購入者・譲渡数量・譲渡金額の決定（総購入回数により決定）
- ④購入代金の支払い

『公募状況』 公募対象クレジット数：12.6 [t-CO₂]

購入方式：総量分配方式（口数型）
 1口あたり金額：税込99,000円